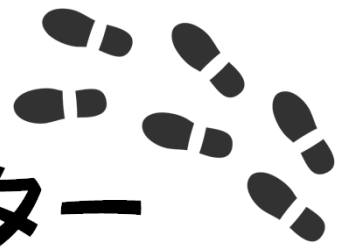




移住ビフォーアフター



vol.22 豊頃町 高橋 強 さん

豊頃町（十勝）での暮らしはいかがですか？



良い意味で住民同士の距離が近いと感じました。関西だと隣近所の方と会話をするというのはなかなかないので、子育ても含めてみんなで声を掛け合って地域で育てるようになっていっているのは豊頃ならではのなかなと思います。ただ、距離感が近くてストレスがかかりやすい方には慣れるまで時間がかかるかもしれません。

豊頃町には、スーパーがないので、週に一度、隣町まで買い出しに行っています。急に買い物が必要になったときは少し大変ですね。ゴールデンウィーク頃には、豊頃町産の農産物や魚介類が買える「とよころ物産直売所」がオープンするので、子どもたちとよく買い物に行きます。

あとは、土壌も良く、涼しいので温暖化の影響を受けながらも、農作物の収量は十分あり、地力がとても強い町なので、加工場ができれば良いなと思っています。加工場ができれば、従業員の雇用が生まれ、豊頃町産のパッケージも作れるかもしれません。

移住するにあたり、不安はありませんでしたか？



大学生時代に十勝に住んでいたのが不安はなかったですね。ただ、単身ではなく家族5人での移住だったので、子どもたちが友達と離れてしまうことや全校生徒の数が10分の1になってしまうことで子どもたちが馴染めるかの方が心配でしたが、スケート少年団に加入して友達もできたり、新しいことに挑戦する姿を見て安心しました。

関西の人と比べて、十勝の方々はとても親切にしてくれます。農家さんから収穫したばかりの野菜をいただきたりするので、とてもありがたいです！



📍 高橋さん一家

移住を検討している方へのアドバイス

土壌が良くて涼しい場所なので農業をするポテンシャルはありますが、加工場がないことや新商品を開発できる人がいないのでそれを活かせるプレイヤーに移住してほしいです。困りごとなどがあれば私もサポートしますので、ビジネスチャンスを活かせる人お待ちしております！

豊頃町のおすすめスポットのご紹介

はるにれの木（豊頃町幌岡十勝川沿い）

春夏秋冬、それぞれの表情を見せてくれます。
撮影スポットとしても人気の場所です！



（写真：豊頃町観光サイトより）



～豊頃町について～

町名の豊頃は、アイヌ語のトエコロで、「大きなフキが生えていたところ」と言われています。

十勝川の河川敷、旧利別川の河口にある「はるにれの木」は、2本の木が一体化した珍しい形をしており、昭和61年2月21日に豊頃町の文化財に指定されています。（豊頃町HPより）



▲ 豊頃町の町章